

家具でつくるランドスケープ

椅子をたくさん置けば置くほどに椅子による場所性は少し薄れ、背景のように広がっていきます。
そこに細長くカーブしたテーブルを掛けると、ロビーいっぱい広がる緩やかな領域が浮かび上がります。
そのような、とてもおおらかで、包容力を持った、休憩スペースの提案です。



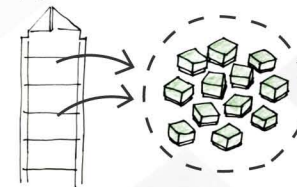
CONCEPT

海外との文化交流の中心地として発展した神戸の港町の風景。青い海に描かれる船の軌跡は、人と人を繋げる街「神戸」のアイデンティティだと考えました。



■思い出を大切に：ソファ集め

建物中にある既存の四角いソファを集めます。ちょっと大振りなサイズの使い方や新しい一面を再発見します。



■伝統で蘇る：張り替え

県内伝統の播州織りで張り替えます。市内のクリエイターや学生と協働したテキスタイルデザインを発信します。



先染め特有の深い色合いによって立体感あるソファに生まれ変わる

■人と人をつなげる：環テーブル

大きく弧を描く細長い「環テーブル」が広々としたロビーを、みんなで共有できる空間にします。

